

1986.

◆ 学会報告

1) 倉西誠：画像診断システム (PACS) のあるべき姿を考える。第5回日本画像医学会パネルディスカッション, 1986, 1, 東京.

2) 羽田隆朗, 倉西誠, 柿下正雄, 瀬戸光, 石崎良夫, 二谷立介, 亀井哲也, 古本尚文：CRT診断についての臨床的検討—胸部のCRT診断について。第45回日本放射線医学会総会, 1986, 4, 東京.

3) 倉西誠, 羽田隆朗, 柿下正雄：X線写真のCRT診断における表示処理の有用性について。第45回日本放射線医学会総会, 1986, 4, 東京.

4) 安井正一, 利波修一, 稲垣晶一：散乱線二相性位置分布特性と散乱線画像抽出法の検討。第42回日本放射線技術学会総会, 1986, 4, 東京.

5) 安井正一, 伊藤一, 森光一, 倉西誠：高周波非線形振幅画像圧縮法の検討。第42回日本放射線技術学会総会, 1986, 4, 東京.

6) 吉田寿, 嘉戸祥介, 倉西誠, 中村衛, 池田祐司：X線写真のデジタル化とCRT診断における表示処理について。第42回日本放射線技術学会総会, 1986, 4, 東京.

7) 熊谷道朗, 嘉戸祥介, 伊藤一, 吉田寿：X線CT装置による骨塩量測定法の問題点。第21回日本放射線技術学会中部部会, 1986, 9, 四日市.

8) 羽田隆朗, 倉西誠, 嘉戸祥介, 伊藤一, 吉田寿, 柿下正雄, 小林巧, 松永満佐巳, 小宗路直：人体模式図も取扱える画像診断レポートシステムの開発。第92回日本医学放射線学会中部地方会, 1986, 11, 岐阜.

9) 倉西誠, 羽田隆朗, 嘉戸祥介, 伊藤一, 吉田寿, 柿下正雄, 小林巧, 松永満佐巳, 小宗路直：人体模式図も取扱える画像診断レポートシステムの開発。第6回医療情報学連合大会, 1986, 11, 東京.

10) 市川三千男, 池田祐司, 中村衛, 倉西誠, 新谷光夫：データ管理のできる自動現像機—その機能について。第14回日本放射線技術学会秋季大会, 1986, 11, 大阪.

◆ その他

薬 劑 部

教 授	堀 越	勇
助 授	上 野	雅 晴
助 手	足 立	伊 佐 雄
副 部 長	中 川	輝 昭
薬 劑 師	加 野	軒 作
〃	松 原	利 行
〃	坂 口	一 夫
〃	平 手	純 司
〃	足 立	博 一
〃	石 塚	安 治
〃	金 本	郁 男
〃	吉 松	清 信
〃	水 間	村 泰 彦
〃	篠 田	健 一 行
〃	川 尻	藤 憲 賢
〃	佐 藤	晶 子
〃	足 立	晶 美
〃	黒 崎	俊 美

◆ 著 書

1) 小澤 光, 松原利行：「配置家庭薬のための薬理学概論」。全国配置家庭薬協議会, 1986.

2) 堀越 勇, 松原利行：抗うつ剤。「診断・治療の進歩と新しい薬剤」垂井清一郎, 高杉益充編, 175—180, 医薬ジャーナル社, 1986.

◆ 原 著

1) Terasawa K., Bandoh M., Tosa H. and Hirate J.: Disposition of Glycyrrhetic Acid and Its Glycosides in Healthy Subjects and Patients with Pseudoaldosteronism. J. Pharmacobio-Dyn. 9: 95—100, 1986.

2) Adachi I., Iwaki H., Adachi H., Ueno M. and Horikoshi I.: Heparin-induced Leukocyte Lysis In Vitro. J. Pharmacobio-Dyn. 9: 207—210, 1986.

3) Konishi K., Ouchi M., Kita K. and Horikoshi I.: Purification and Properties of a Cytochrome b_{560-d} Complex, Terminal Oxidase of the Aerobic Respiratory Chain of Photobacterium phosphoreum. J. Biochem. 99: 1227—1236, 1986.

4) Kawashiri N., Toriizuka K., Adachi I., Ueno M., Terasawa K. and Horikoshi I.: Effects of Traditional Crude Drugs on Fibrinolysis by Plasmin; Antiplasmin Principles in Eupolyphaga.

Chem. Pharm. Bull. **34**: 2512—2517, 1986.

5) Adachi I., Takahashi M., Adachi H. and Horikoshi I.: EL-4 Tumor Cell-Induced Human and Rabbit Platelet Aggregations. Cell Structure and Function. **11**: 157—163, 1986.

6) Adachi I., Kusunoki I., Ishizuka T., Yasuta A., Nakagawa T. and Horikoshi I.: Preventive Effect of 2-Halogen-Substituted Derivatives of Cyclic Adenosine 3', 5'-Monophosphate on Experimental Disseminated Intravascular Coagulation. Chem. Pharm. Bull. **34**: 3861—3865, 1986.

7) Ueno M., Adachi I., Koizumi T., Sato K. and Horikoshi I.: Gastro-intestinal Absorption of Heparin. J. Pharmacobio-Dyn. **9**: s—110, 1986.

8) Adachi I., Sumi C., Furuhashi K., Adachi H., Ueno M. and Horikoshi I.: Characterization of Histamine Release in Digitonin-Permeabilized Rabbit Platelets. J. Biochem. **100**: 1009—1014, 1986.

9) Matsubara T., Hagino K., Mimura Y. and Horikoshi I.: Chemical Hydrolysis of Acetylthiocholine and Butyrylthiocholine by Cholinesterase-like Action of Pralidoxime. Pharmacometrics. **32**: 763—767, 1986.

10) Kato Y., Hirate J., Sakaguchi K., Ueno M. and Horikoshi I.: Age-dependent Changes in Warfarin Tissue Distribution. J. Pharmacobio-Dyn. **9**: 889—895, 1986.

11) Terasawa K., Toriizuka K., Tosa H., Ueno M., Hayashi T. and Shimizu M.: Rheological Studies on "Oketsu" Syndrome I. The Blood Viscosity and Diagnostic Criteria. WAKAN-YAKU **3**: 98—104, 1986.

12) 中川輝昭, 安田晶子, 鳥居塚和生, 足立伊左雄, 上野雅晴, 堀越 勇: Thrombelastgraph を利用した Urokinase の定量および溶解後の安定性. 病院薬学 **12**: 369—372, 1986.

13) 上野雅晴, 若松伸子, 吉松清信, 石塚安治, 堀越 勇, 阿部要一: アドリアマイシン/リピオドールエマルジョンからの薬剤放出の制御および放出速度測定に関するコメント. 癌と化学療法 **13**: 3291—3293, 1986.

14) 馬 永華, 垣内信子, 服部征雄, 寺沢捷年, 平手純司, 加藤義輝, 堀越 勇, 深作 昇, 難波恒雄: 厚朴成分 magnolol の代謝研究 III [ring-¹⁴C] magnolol 投与ラットの全身オートラジオグラフィについて. 和漢医薬学会誌 **3**: 129—135, 1986.

15) 清水岑夫, 黒崎俊美, 田嶋佳子, 林 利光, 森田直賢: ナデシコ科植物の成分研究 (第3報) ハコベの水溶性成分. 生薬学雑誌 **49**: 108—112, 1986.

◆ 学会報告

1) 里村 敬, 増田 達, 伊藤祐輔, 金本郁男, 谷村憲徳: ケタミン投与後の血漿中濃度の推移について. 第32回日本麻酔学会, 1985, 5, 秋田.

2) 中川輝昭, 川端奈緒美, 上野雅晴, 堀越 勇: 熱を示標にした線溶酵素の活性測定法の開発. 日本薬学会第106年会, 1986, 4, 千葉.

3) 川尻憲行, 鳥居塚和生, 足立伊左雄, 上野雅晴, 堀越 勇, 寺沢捷年: 駆瘀血剤の研究…線溶・凝固系に対する蟻虫の作用. 日本薬学会第106年会, 1986, 4, 千葉.

4) 難波恒雄, 服部征雄, 垣内信子, 馬 永華, 寺沢捷年, 堀越 勇, 平手純司, 加藤義輝: 厚朴成分 Magnolol のラット臓器における分布と代謝. 日本薬学会第106年会, 1986, 4, 千葉.

5) 鷺見智洋, 足立伊左雄, 上野雅晴, 堀越 勇: ジギトニン処理血小板の反応性に関する研究 I. 凝集反応・放出反応の基礎的検討. 日本薬学会第106年会, 1986, 4, 千葉.

6) 古橋和也, 足立伊左雄, 上野雅晴, 堀越 勇: ジギトニン処理血小板の反応性に関する研究 II. Ca⁺⁺ 動態の検討. 日本薬学会第106年会, 1986, 4, 千葉.

7) 佐藤 賢, 足立伊左雄, 上野雅晴, 堀越 勇: ラット消化管におけるヘパリンの吸収に及ぼす界面活性剤の影響. 日本薬学会第106年会, 1986, 4, 千葉.

8) 水間 俊, 堀江利治, 林 正弘, 粟津荘司: 薬物のラット遊離肝細胞膜透過におけるアルブミンの役割, 生体膜とアルブミンの相互作用. 日本薬学会第106年会, 1986, 4, 千葉.

9) 加藤義輝, 平手純司, 坂口一夫, 上野雅晴, 堀越 勇: ラットの幼令化に伴う薬物体内動態の変化とその要因. 日本薬学会第106年会, 1986, 4, 千葉.

10) 坂口一夫, 平手純司, 足立博一, 堀越 勇: 人血清アルブミンのフェニトイン結合部位. 日本薬学会第106年会, 1986, 4, 千葉.

11) 田中範久, 足立伊左雄, 上野雅晴, 堀越 勇: リポソームのサイズ, サイズ分布に及ぼす界面活性剤除去速度の効果. 日本薬学会第106年会, 1986, 4, 千葉.

12) 鳥居塚和生, 寺沢捷年, 西山パウラ, 川尻憲

行, 足立伊佐雄, 上野雅晴, 堀越 勇: 当帰中の血小板凝集阻害成分について. 第3回和漢医薬学会・学術総会, 1986, 8, 東京.

13) 堀越 勇: 治験薬剤をめぐる製剤技術・評価する立場からの問題点. 第11回製剤セミナー, 1986, 7, 茅野.

14) 上野雅晴, 田中範久, 足立伊佐雄, 堀越 勇: リポソーム膜のイオン透過性におよぼす膜内界面活性剤の非対称分布の効果. 第9回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 1986, 11, 東京.

15) 上野雅晴, 田中範久, 足立伊佐雄, 堀越 勇: 混合ミセルからのベジクルの転移. 第39回コロイドおよび界面化学討論会, 1986, 10, 筑波.

16) Martin D. W., Ueno M.: Incorporation of Functional Sarcoplasmic Reticulum Calcium ATPase into Phospholipid Vesicles formed by Rapid Removal of Nonionic Detergent. 28th Annual Meeting of Biophysical Society, 1985, 2, Baltimore.

17) 足立伊佐雄, 堀越 勇: 血小板に及ぼす和漢薬の効果. 第2回富山和漢薬懇話会, 1986, 8, 富山.

◆ その他

1) 堀越 勇, 三村泰彦: 特集「治療の歴史, 鎮咳剤」. 治療学 6: 711—715, 1986.

2) 堀越 勇, 鳥居塚和生: 実務シリーズ「漢方の調剤と製剤」. 薬事新報1397号25—31, 1403号53—56, 1406号25—29, 1411号25—28, 1986.

3) 堀越 勇: 六神丸の薬学的研究「ジャコウの代替品の研究」, 富山県製薬工業組合, 新商品等普及確立事業報告書 4—20, 1986.

4) 上野雅晴: リポソームの医療への応用. 医薬ジャーナル 22: 2045—2051, 1986.

5) 北澤式文, 宮崎勝也, 水柿道直, 西谷篤彦, 上野雅晴, 上能伊公雄, 新熊伝治, 突合皐月, 野田浩司: 病院薬学研究の現状とその検討. 病院薬学 11: 128—129, 1985.